

2012年5月（記載要領変更に伴う改訂）

下線部：2012年5月改訂

この説明文書は服用前に必ずお読みください。また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第②類医薬品

かぜ薬 JAクミアイ 総合感冒カプセル

「かぜは万病のもと」と言われており、早めに治すことが大切です。

鼻水が出る、寒けがする、のどが痛い、熱がある、こんなかぜの初期症状があらわれた時には、早めに**JAクミアイ総合感冒カプセル**をお飲みください。

JAクミアイ総合感冒カプセル中の各成分が働いて、鼻水、鼻づまり、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛などの「かぜの諸症状」を緩和します。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと

（眠気等があらわれることがある。）

4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること

5. 服用前後は飲酒しないこと

6. 長期連用しないこと



■ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (5) 次の症状のある人。高熱、排尿困難
- (6) 次の診断を受けた人。甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくたとする、血尿等があらわれる。

無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
腎 障 害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
便秘、口のかわき、眠気
- 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効 能

かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

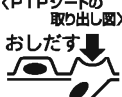
用法・用量

次の1回量を、水又はぬるま湯で食後なるべく30分以内に服用してください。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人(15才以上)	2 カプセル	3 回
7才～14才	1 カプセル	
7才未満	服用しないでください。	

＜用法・用量に関連する注意＞

- 用法・用量を厳守してください。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- 右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等
思わぬ事故につながります。)



成分・分量 6 カプセル中

成 分 名	分 量	作 用
アセトアミノフェン	900mg	熱をさげ、頭痛や関節・筋肉の痛みを緩和します。
クロルフェニラミン マレイン酸塩	7.5mg	鼻水、くしゃみ、鼻づまりなどのアレルギー症状をおさえます。
ジヒドロコデインリン酸塩	24mg	せき中枢に作用して、せきをしずめます。
dl-メチルエフェドリン 塩酸塩	60mg	気管支をひろげ、たんを排出しやすくします。
グアヤコール スルホン酸カリウム	240mg	たんを切れやすくします。
無水カフェイン	75mg	頭痛をやわらげます。
チアミンジスルフィド	24mg	かぜの時に消耗の激しいビタミンB ₁ ・B ₂ を補います。
リボフラビン	12mg	
ヘスペリジン	60mg	血管や組織を丈夫にし、抵抗力を高めます。

添加物：乳糖水和物、ステアリン酸Mg、セルロース、ゼラチン、ラウリル硫酸Na、黄色5号

＜成分・分量に関連する注意＞

本剤の服用により、尿が黄色になることがありますが、リボフラビン（ビタミンB₂）によるもので心配ありません。

保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります。）。
- 配置期限をすぎた製品は服用しないでください。



製品についてのお問い合わせは、お買い求め先、又は下記にお願い申し上げます。

小林薬品工業株式会社 お客様相談室
電話：058-278-3933
受付時間：10時～16時（土、日、祝日を除く）

副作用被害救済制度の お問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
☎0120-149-931（フリーダイヤル）

製造販売元

本社所在地

小林薬品工業株式会社

岐阜県岐阜市中鵜1丁目139番地
東京都中央区日本橋箱崎町40番6号